

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和4年度) 2022年

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	11	12	土	8:30	15:30	五味ヶ谷市民の森	18名
活動名称	五味ヶ谷里山体験会					報告者：吉井 優	

1、活動目的

私達が市民管理協定で整備している五味ヶ谷市民の森は、竹林と雑木林からなり、近隣住民の散策路として親しまれています。この森を子供たちに積極的にアピールし、楽しさを通して森の大切さを理解してもらいます。自然環境でいろいろな体験をした子ども達は、協調力・忍耐力が増すと言われていています。なにより、非日常的な体験により、好奇心にあふれ旺盛な知識欲とともに心の豊かな大人に育ててくれることを期待します。

2、活動内容

いつものことであるが、ツリーイング、ハンモック、綱渡り、竹細工、バンブーパンを実施した。受付人員は、子供87名、大人62名で、ほぼ予想定員となった。ツリーイングは、10人が一人一時間体験し4回開催した。ハンモックは10張り設置し、今回から一二三富の会から借りたハンモックベルトを使い、効率よく設置できた。来期は我々も購入予定です。綱渡りは、スタートとエンドに傾斜をつけ乗り降りやすくした。竹細工もいつもどおり、花瓶やポックリ、けん玉を作った。今回初めてヒノキオ作りを提案したが、低学年のこどもには、難しかったのか、うけなかった。バンブーパンもいつものように人気で午後すぐに終了した。今回手動の縄緬い機を持ち込み昔ながらの縄緬い作業を子どもたちに体験させた。みんなは興味津々で大うけでした。もう一つ初の試みとして「特性のある子と保護者」のグループが竹林を使った森の探検メニューを行い、子どもたちに竹林の心地よさをアピールしてくれました。来年も実施予定。

3、評価

コロナ陽性者は、やや増加傾向で、ツリーイング予約者の、家族が陽性判定をうけ、キャンセルが数組発生した。それでもウイズコロナの風潮のせい、前回の藤金より参加者が増加し、参加した子供たちは、元気よく市民の森を駆けずり回っていた。子供たちが楽しんでくれたよう目的を達成できたと判断できました。

4、課題

ツリーイング団体の仙台イベントと日程が重なったため、1週間延期して開催した結果、産業まつりとかぶってしまった。産業まつりにはカローレも出店しているが、子どもたちのあそびを優先するなら、里山体験会に参加したいという見解でしたが、藤金より微増という結果でした。今回、2週間前に坂戸のプレーパークで、五味ヶ谷の里山体験会を宣伝した結果、子ども28名参加となり、予定人数を上回ることができました。来年も同様なスケジュールなら宣伝するようになりたいと思います。

<里山参加会員>

「後列」木部、・・・・・・・・・・大森、松下、脇谷

「中列」田中・内藤、小嶋、横手、松井・

「前列」小澤邦・小沼、小澤弘、吉井、柳川・石川、杉山、佐野英、

「撮影」吉富 「追加」風祭、牛島

<活動写真>

